



6/5～6/8 修学旅行で日頃の力を発揮！！

今年の修学旅行は、お天気もまずまずのところできえました。吉岐の方々の温かいおもてなし、豊かな自然、歴史文化のすばらしさにふれて充実した修学旅行となりました。



今年は、とりわけ、子どもたちが自主性や主体性を発揮する場面を目の当たりにして感激することも多くありました。日々、係活動で課題を出し合い、改善していく様子は、お見事でした。成長を促す一つの理由には、ホテルや旅館のようなサービスを受けることなく、自分たちでできることを自分たちで工夫してやりきる経験があることでしょう。

たとえば、食事係。食後の片付けも最初は全員で取りかかっていたところ、分担と責任をはっきりさせて効率よく安全に片付けるための工夫を子どもたち自ら発案し見事にやりきります。食事係だけではありません。どの係も予定通りの仕事をこなすだけに終わらず、その都度、話し合い、提案し実行していきます。課題に気づき解決策を生み出す知恵や物事を工夫する力は、いったいどこから生まれるのかと言えば、実は、教室で身につけている力でもあります。いつも、課題に取り組み、自ら解決していくという活動が日々の暮らしの中で行われているからでしょう。これまででない、子どもたちの成長ぶりに感動しました。確かな力を身につけたなぎさっ子たちは、自信に満ちていました。



た

くちなし

校内のあちらこちらでいい香りをとどけてくれています。常緑低木で野生では森林の低木として自生する。果実が熟しても割れないため、「口無し」という和名の由来となっている説もある。

6月の生活目標

- 身なりを整えよう
- 雨の日は静かに過ごそう

6/13 4年生 ピースウォーク

世界とのつながりを感じ、英語学習の成果を実践で発揮するなどの目的で行われるプロジェクト学習です。平和公園を訪れる外国の人にインタビューすることを通して平和についての多様な意見を知ることができます。

事前に、被爆証言講話を聞いたり、平和記念資料館や公園内の見学をしたりしてからインタビューをします。「にんげん」の授業で被爆アオギリについても学び、複数教科を横断的に結びつけて学ぶので子どもたちは、情報の整理や活用の力を身につけるとともに英語を通じて世界の人を理解することもできます。外国の方



から、子どもたちの英語の発音のよさをほめられたり、修学旅行で広島を訪れていた小学生から英語を話す子どもたちにびっくりされたりしたと聞きました。どのグループもインタビューを繰り返していくうちに、どんどん上手に話したり、聞いたりできるようになり、自信を深めることができました。



桜並木の宝物～正門であいさつしている時のいろいろなプレゼント。五日市駅から学校までほんの10分間かそらの時間ですが、麦わら帽子に「だんごむしの大群」きれいは「緑の葉っぱ」途中で拾った「梅の美しい香り付き」「弱ったなめくじ」等々、発見のうれしさをおすそ分けしてくれるなぎさっ子の優しさを毎朝受け取っています。友だちと一緒に登下校の道、楽しみがいっぱいなんですね。

